

財界九州5

Since1958. 九州・沖縄の「時流」を知る総合情報誌

No.1148

余談十

ミラクルソルが高評価 立て続けに発明賞受賞

日本建設技術（佐賀県唐津市）は昨年11月に佐賀県発明協会会長賞を、ことし3月には第45回発明大賞で考案功労賞をと、たて続けに受賞した。受賞内容はいずれも「発泡材ガラスを用いた道路舗装構造」。原裕社長は「この工法を思いついたのは約20年前。長い時間をかけて、評価を受けるようになつた」と笑顔。



同工法のアイデアが生まれたのは、同

社長が夏の暑い日に会社から犬を散歩させる婦人を見かけたことがきっかけだ。アスファルトを歩く犬を見て、「あの犬は熱いだろうなあ」と思った。そこから「廃ガラスを用いて道路の温度を下げる」「ミラクルソル工法」を開発した。「単に温度を下げるだけでなく、廃ガラスを再使用した点も評価された。地球温暖化をはじめ、環境問題に早くから取り組んで良かった」。今後、社会課題の解決に向けた商品開発に取り組む。